

表2 つづき

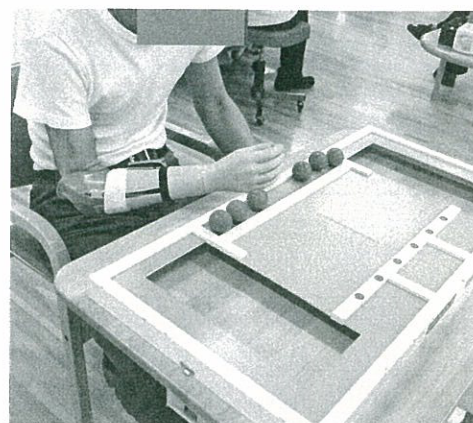
上腕切断症例	年齢(歳)	性別	断端	職業	復職	*筋電義手の仕事での使用	**チャンネル(ローテーション10S17)	オットーボック社の製品 使用ハンド・肘継手種類	屈曲リスト 10V38
症例20 (図12, 23)	52	男	右上腕切断 標準型 (54%)	活性炭の製造	○ 元職復帰	○	4	8E44=6(DMC) 7 1/4 肘継手 E-200(ホスマー) 吸着式	○
症例21 (図5)	21	男	右上腕切断 標準型 (73%)	菓子の製造ライン	○ 元職復帰	×(腰痛)	4	8E38=6(DMC) 7 1/4 肘継手 12K44 シリ コーンライナー	×
症例22 (図13)	68	男	左上腕切断 標準型 (89%)	鉄の加工処理	○ 元職復帰	×(重さが苦痛)	2	8E44=7(デジタル) 7 1/4 肘継手 12K44 吸着式	○

*筋電義手の仕事での使用：○積極的使用，△消極的使用，×使用せず。

**チャンネル2：指の屈伸，チャンネル4：指の屈伸+手関節の回内外旋。



■ 図2 症例1：家事動作



■ 図4 症例11：作業療法評価(STEF)の場面



■ 図3 症例4：ハンダ付け作業



■ 図5 症例21：作業療法場面(上腕にシリコーンライナーを使用)



■ 図6 症例15：筋電義手脱着場面(前腕にシリコンライナーを使用)



■ 図9 症例13：屈曲リスト



■ 図7 症例3：鍛冶屋の作業場面



■ 図8 症例12：手関節離断用ソケット(有窓式差し込み)



■ 図10 症例18：上腕筋電義手(オットーボック社製：能動単軸ブロック式肘継手)

命名されている。症例2(図14, 15), 10(図16)において業務時に使用し、作業に特化した形状と構造を持ち、ハンド型よりも強い把持力と握力を示す。

(2) 肘継手

オットーボック社から上腕筋電義手用の能動単軸ブロック式肘継手(12K44)が販売されている。これは肘継手上部に電極ケーブル接続用のコネクタがあり、外部に配線が出ないために断線のリスクが少なく見栄えもよい(図10, 11, 13)。しかし、サイズが日本人には少し大きいためホスマー社製の能動ブロック肘継手を選択する場合もある(図5, 12)。

ックチェンジリスト部品を組み合わせることによってリスト屈曲機構付きハンドとしての動作が可能で、机上での作業において肩関節の代償動作を必要としないので、事務作業やパソコンのキーボード操作等に有益である。

電動フックは(8E33) Greifer (グライファー)と